

2022 年度

【講演】

1. 村岡法彦. がん患者に対する理学療法の実際-QOL を維持するためにこれだけは知っておこう-. 教育研修講演. 第 73 回北海道理学療法士学術大会 2022.6 旭川市.
2. 塚田鉄平. 北海道ブロックでの取り組み 日本障がい者スポーツトレーナー学術大会 地区ブロックでのトレーナーの関わり 2022.11 オンライン
3. 塚田鉄平 障がい者スポーツにおける理学療法士の役割.令和4年度全国労災病院リハビリテーション技士会北海道・東北ブロック研修.2022.12 オンライン
4. 塚田鉄平 障がい者スポーツ実施の際のリスク管理.2022 年度道北地区障がい者スポーツ指導員初級養成講習 2023.3 オンライン
5. 塚田鉄平. リハビリテーションとスポーツ. 北海道教育大学旭川校 講義. 2022.9 旭川市
6. 伊東修一. 大腿骨頸部骨折地域連携パス～認知項目の課題～. 令和4年度第2回地域連携診療計画(大腿骨頸部骨折)に関する協議会. 2022.10 旭川市(オンライン)
7. 田中伸吾 車いすフェンシングにおけるクラス分け.国内クラシファイア養成講習会 2023.2 東京
8. 田中伸吾 車いすフェンシングにおけるクラス分け.第3回パラスポーツクラシフィケーション研修会 2023.3 オンライン
9. 高山拓也, 健康講座「健康長寿とロコモティブシンドローム」. 2022.12 旭川市
10. 高山拓也, 肝臓病教室・家族支援講座「肝疾患と運動の必要性」, 2023.1.25 WEB 配信
11. 三田村信雄. 当院での心臓リハビリテーション 顔が見える未来の心臓リハビリテーション・旭川スタイル. 第19回旭川心臓リハビリテーション勉強会 2023.3. 旭川市
12. 高橋佑弥. 第1講座:急性期における代表的な脳卒中の病態を理解して作業療法のアプローチを知る. 急性期・回復期における脳卒中の作業療法 リハテックリンクス 2022.6.
13. 高橋佑弥. 併存疾患を呈した関節リウマチ患者のリハビリテーション. 旭川リウマチ研究会 2022.7 旭川市.
14. 高橋佑弥. Bifunctional upper limb prosthesis～右前腕部不全切断術後の症例～. 旭川の手外科を考える会 2022.11 旭川市.
15. 片岡慶大. 技術継承と技術革新から考えるこれからの OT のあり方とは. 第52回北海道作業療法学会学術大会. 2022.6. 帯広

【解説・総説・その他】

1. 大田哲生, 池田夢子, 呂隆徳, 野坂利也, MEDICAL REHABILITATION. 【女性とウイメンズヘルスとリハビリテーション医療】ウイメンズヘルスを考慮した痙縮治療. 275号 25-30.
2. 塚田鉄平 my current favorite 障がい者スポーツ.PT ジャーナル 2022;56:726

#### 【査読付き論文】

1. Moriichi K, Fujiya M, Ro T, Ota T, Nishimiya H, Kodama M, Yoshida N, Hattori Y, Hosokawa T, Hishiyama H, Kunimoto M, Hayashi H, Hirokawa H, Yoshida A. A novel telerehabilitation with an educational program for caregivers using telelecture is feasible for fall prevention in elderly people: A case series. *Medicine (Baltimore)*. 2022 Feb 11;101(6):e27451.
2. 村岡法彦, 及川欧, 高橋佑弥, 内藤幸輝, 美馬愛子, 呂隆徳, 大田哲生. メンタルヘルスの観点からみる当院の COVID-19 リハビリテーションチームの特徴 安心で安全な取り組みとは. *PT ジャーナル* 2022;56:1247-1249.
3. 村岡法彦, 景山研斗, 高山拓也, 酒井周平, 呂隆徳, 大田哲生. 理学療法士の ICU 専任体制の導入は開胸術後患者の早期離床と ADL 改善を可能にする. *北海道理学療法* 2022; 39:16-23
4. 細川祐司, 村岡法彦, 吉田圭佑, 岡村綾子, 呂隆徳, 及川欧, 大田哲生. 多職種と協働し人工呼吸器離脱を進めた悪性腫瘍摘出後高位脊髄損傷児の一症例. *北海道理学療法* 2022; 39:105-112
5. 高橋佑弥, 及川欧. Rhythmical skeletal muscle tension (RSMT) 変法の検討ー本態性振戦を呈した一症例に対してー. *バイオフィードバック研究* 2022; 49: 1: 29-37

#### 【学会発表】

1. 村岡法彦, 才田良幸, 及川欧, 景山研斗, 西谷健太郎, 美馬愛子, 甲谷滉康, 呂隆徳, 大田哲生. 当院の要介護高齢 COVID-19 患者の特徴とリハビリテーションの効果. 第 33 回日本老年医学北海道地方会.2022.7 札幌市
2. 岡村綾子, 伊東修一, 村岡法彦, 呂隆徳, 及川欧, 大田哲生. 特発性拡張型心筋症を発症し、発達遅延を呈した児とその家族への関わり. 第 9 回日本小児理学療法学術大会 (口述発表) 2022 年 11 月 12 日・13 日 WEB 開催
3. 高山拓也. 放射線治療により有害事象が出現したが, 運動療法と栄養サポートによって身体機能・QOL を維持することができた症例. 第 73 回北海道理学療法学術大会.
4. 高山拓也, 村岡法彦. 低栄養の観点からみた胃がん術前後の身体機能ーGLIM 基準を用いた比較ー. 第 8 回栄養・嚥下理学療法研究会学術大会. 2023 3
5. 三田村信雄, 伊達歩, 呂隆徳, 大田哲生. ICU-AW の疑いのある急性心筋梗塞後患者に対する理学療法の一例. 第 7 回日本心臓リハビリテーション学会北海道地方会
6. 細川祐司, 村岡法彦, 田中団, 呂隆徳, 及川欧, 大田哲生. ミラーセラピーの方法を検討することにより幻肢痛が軽減した有棘細胞癌による大腿切断術後患者の一例. 第 11 回日本がんリハビリテーション研究会. 2023.3 名古屋
7. 吉田圭佑, 岡村綾子, 村岡法彦, 志子田未央, 佐藤聖, 呂隆徳, 大田哲生. 体幹筋へのア

- プローチにより咳嗽力改善が認められたダウン症の一例. 第 73 回北海道理学療法士学術大会. 2022.6 旭川市
8. 池田 夢子, 及川 欧, 村岡 法彦, 塚田 鉄平, 才田 良幸, 呂隆徳, 大田 哲生. 長期人工呼吸器管理となった 80 代の COVID-19 患者に対するリハビリテーション経過と一年後調査. 第 33 回日本老年医学北海道地方会.2022.7 札幌市
9. 景山研斗. IMPELLA 挿入下で歩行練習を開始した重症心不全症例. 日本心臓リハビリテーション学会 第 7 回北海道地方会.
10. 景山研斗, 高橋佑弥, 川原菜々, 塚田鉄平, 細谷菜々望, 林寛将, 勝谷沙優, 甲谷滉康. 脳卒中後の安全な離床に向けて. 第 13 回旭川脳卒中地域連携研究会.
11. 勝谷沙優, 高山拓也, 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. Pancoast 症候群により右上肢痛の QOL の低下を認めたが、包括的リハビリテーションにより改善を認めた進行肺がん患者の一症例.第 5 回道北理学療法士学術大会.2023 年 2 月 4 日. 旭川 大会長賞受賞
12. 石見千沙都, 伊東修一, 呂隆徳, 大田哲生, 皮弁採取部感染による大腿四頭筋部分切除で ADL 低下をきたした上顎歯肉腫瘍の一症例. 第 5 回 道北理学療法学術大会. 2023.2.4 旭川市
13. 才田 良幸, 呂 隆徳, 中川 直樹, 高橋 裕之, 松野 直徒, 横尾 英樹, 大田 哲生. 腎移植前後の運動療法が身体機能向上に奏効したサルコペニアを有する腎移植患者の 1 例. 第 58 回日本移植学会総会. 2022.10. 名古屋市
14. 西谷健太郎, 佐藤弘也, 呂隆徳, 大田哲生.包括的高度慢性下肢虚血による両足部切断後、両短下肢装具を製作し歩行再獲得した一症例. 第 3 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会. 2023.2 奈良市
15. 美馬愛子, 村岡法彦, 呂隆徳, 大田哲生. 理学療法士から多職種への働きかけにより QOL が改善した進行肺がん多発骨転移患者の一例. 第 73 回北海道理学療法学術大会 2022.6 旭川市.
16. 林寛将, 高山拓也, 村岡法彦. 胃がん術前患者における phase angle は身体機能と QOL を反映する. 第 8 回栄養・嚥下理学療法研究会学術大会. 2023 3
17. 高橋佑弥, 及川欧. Rhythmical skeletal muscle tension (RSMT) 変法の検討ースキージャンプ事故で全身打撲を呈した 11 歳小児の事例ー. 第 49 回バイオフィードバック学会. 2022.6 新宿区
18. 村田絵吏, 渡邊安紀, 大田哲生. 乳癌術後末梢神経障害を呈したが作業療法を施行し改善を認めた一例. 第 11 回がんリハビリテーション研究会. 2023.3